

令和7年度 第3回中井町総合計画審議会 議事録

日時 令和7年11月20日（木）10:00～11:30

場所 役場本庁舎 3階 3A会議室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

(1)パブリックコメントへの実施結果について

(2)第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画（案）について

(3)答申（案）について

4. その他

今後のスケジュールについて

（質疑）

3. 協議事項

(1)パブリックコメントへの実施結果について

委員	2点ほどお聞きしたいのですが、まず1点目が、パブリックコメントが11件だとのことですが、事務局としては予想としてどのくらいの数が来ると予想していたか、お聞きしたいのが1点と。あと一つはやはり町民のウェルビーイングの調査結果の中で土地の有効活用や交通機関が低いという評価があったと思いますので、大変マッチしている質問があったなと思うのですが、この資料そのものを見たときの内容的なことは特に分かりやすくいいものだなと思うのですが、こだわりますけれども、意見数について、これが計画として独り歩きした時に、後で振り返るものとして、どうなのかなという、あと11件の内容なのですけど、もし年齢、例えば高齢者の方が多いのかなと思うのですが、そういう書く欄があるのでしたら、何歳の方が、内訳がどういう形なのかなと分かれば教えていただきたいと思います。
事務局	まずどのくらい来るかの予想ですけども、私が知る限りというか、私が携わった計画ぐらいしかなかなか件数はないのですけれども、結果的に言いますと、予想より多いご意見をいただいております。過去の例を見ますと基本的にあまりご意見をいただかないケースが多いです。計画によっては1件も来ない計画も多数ある中で、今回については、4名11件ということですけども、事務局としては比較的多めのご意見をいただいたかなというところで考えてございます。年齢は、特段お書きいただいていないですね。ただ、記名されてご提出いただいた方もいらっしゃいますので、お名前はお話ししませんが、60代の方とおそらく30代の方ですね。その2名、直接お持ちになった方もいらっしゃったので、その方は見た目だけの話になります。もう一方は私の方で知っている方でしたので、ご年齢は大体分かりますけれども、後の二名の方につきましては提案箱への投函ということになりますので、ご年齢等は把握できていないといったところになります。
委員	あとでまた触れると思うのですけれども、Webとかオンライン投稿ではなくて、要するに紙媒

	<p>体の投稿、口頭というか、そういった形での聞き取りということですか。</p>
事務局	<p>このパブリックコメントについてということですか。</p>
委員	<p>そうですね。方法が郵便、電子メールとある。</p>
事務局	<p>実施方法ですか。</p>
委員	<p>はい。そうすると電子メールとかそういうものよりも、やっぱり紙でお伝えしましたよとか提案云々でお話しされていたので、あとは口頭でこういう風に私は考えますよというような形の方が四人の内も含めて、やはり電子メールが1件もなかったということですか。</p>
事務局	<p>すみません。メールが1件ですね。インターネットによる提出は1件と持参が1件ですね。あとは提案箱に入れられたのは2名という形になります。資料の2ページ目の方にどのような回答をいただいたかの内訳を記載させていただいてございます。</p>
委員	<p>申し訳ないです。すみません。以上です。</p>
会長	<p>他にどうでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>このパブリックコメントを見ている、一応私はここに参加させていただいて、これができて良く経緯を見させていただいて、これが公表された時に町民の皆さんはどのような意見を出されるのかなって気になっていたのですけれど、やっぱり割と皆さんもっと具体的な内容が知りたいなという風に言われていることが多いのかなと思って。でも結局回答としては、それは個別のことなのでここには載らないですよといったふわっとした回答で全部終わっちゃっているの、ちょっとすっきりしないだろうな、町民としては、という感じがして、その個別ってどこ見ればいいのかみたいな。個別、個別と言われてもそれって何なのという部分がちょっと疑問に思うだろうなって思うし、自分もそう思うなってということと、あとはやっぱりこの意見いくつかのなかでも40億をかけていま生涯学習施設の建設に向けて動いていることって中井町としてはかなり大きな事業だっているのは、町民としてはすごい思っているのに、それも個別案件っていうのはおかしいんじゃないか。それも同じ位置づけの、個別案件で片付けちゃっていいのだろうかというのは疑問ですね。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。当審議会の中でも、そういう意見度々いただいていた中で、繰り返しの説明になってしまっていて申し訳ないのですが、全体的な方向性という中で、計画は作成させていただいているという説明させていただいております。計画書の中で、関連する個別計画というところで各事業分野、施策分野のところで、右端の方に関連する個別計画というところで明示をさせていただいております。そちらの方で、各所管が作っている個別計画で、また細かい数字的な状況ですとか、例えば各々の計画を作る時にまた個別個別の計画の策定にあたってアンケートなども取っていきます。そういうアンケートの結果なども、個別の政策に対するアンケートということで、拾い上げて個別の政策を、計画を作っているところでございます。それをまとめた、上被せの総合計画という形になりますので、そういう形ということでご理解を</p>

	<p>いただければと思います。いま、総合計画は作り方が決まっていないのですよ。以前は法律で全市町村作りなさいみたいな形だったのですけれども、その義務化もなくなりまして、ただ大体のところが総合計画とかそれに準じたものは作っているのですけれども、例えば計画の年数が違ったりですとか、当町の方が全体 10 年で、今回の前期の基本計画 5 年ということでやっているのですけれども、4 年、4 年、4 年の計画で回しているようなところもございます。それは首長さんの任期の関係でやっているとかですね、そういうところもあるようです。細かく区切った計画をやっていると、その計画をやっているところは、意外と細かい施策を入れている総合計画を作っているところもあるのですけれども、当町の方はあくまでも全体的なその他の計画の上被せになるという考えのもと、こういう風な作りにさせていただいているということはですね、今後また丁寧に皆様にはお伝えしていく必要があるかなという風には思っています。あと、いま委員が仰られましたのが生涯学習施設の関係、一応 40 億程度ということで話が出ておりまして、これから、来年から、建設等が入ってくることになります。交流の拠点が必要ということで、みんなが集う場が必要だということでですね、総合計画の中の位置づけをさせていただいているところでございます。総合計画の中で 40 億の施設を作るということは当然書き込みません。ただ、拠点が必要、求められているというところでそういうものの整理をするという形の書きぶりでございます。この計画というのは、既に生涯学習施設の基本計画ですとか、基本構想ができております。その中でまた次年度以降、町の方で予算をつけながら進めていくということになりますので、ちょっと費用感は当然重要なお話ではございますが、この計画の中で費用感を謳ってしまいますと、じゃあこの事業の費用感、この事業の費用感、という形になりますので、方向性だけを出させていただく計画で、費用感ですとか実際の内容につきましては、また個別計画ですとか、その事業の施策、または、次年度以降行います、町民のアンケート、意識調査は引き続き調査していきたいと思います。その中で、町の施策の満足度というところで、また測らせていただき、その施設の効果なども検証させていただければという風に考えております。すみません。なかなかちょっとご希望のお答えにはならないと思いますけれども、そういった考え方でやらせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>どうでしょうか。</p>
委員	<p>やっぱり 40 億円って他の事業と一緒にしちゃっていいレベルじゃないと思うのですけど。もう柱じゃないですか。この 10 年これから先、中井町はこれを柱にここにお金をボンって突っ込んで盛り上げますっていうレベルの話の事業を今やろうとしているのに、それを盛り込めませんっていうのがちょっとよく分からないかなという感じがする。</p>
事務局	<p>拠点の関係という形で入れてはございます。</p>
委員	<p>さらりと入っていますね。そういうレベルの話？みたいな。結構町の 1 年分の予算に匹敵するお金をかけてまでやること。</p>
事務局	<p>どうしても建物になりますので、費用感は掛かってきます。例えば、広域のごみ処理の関係やっ ていまして、近隣の市町とごみ処理なんかやっているのですけれども、やっぱりそこですね、 相当な、今焼却炉の建て替えなんかをやるということで費用感は掛かってきます。ではどこから どこまでの線かっていうところもございますし、その言い方の中で、ちょっと優劣をつけるよう</p>

	<p>な形になってしまいますと、それはそれでというところがございまして、今回色々生涯学習施設について町民の方のご意見があるということは、担当課のみならず、当課の方でも承知はしてございます。その中で今までちょっとやっぱりご説明があまりできていなかったのかなという気がしてございます。40 億という数字もですね、こう言っては何ですけども、何が 40 億だか分からないけれども 40 億かかるといったそういうお話しかと思います。いま詳細な設計をして費用感が大体固まったところでございますので、これから、その事業につきましては個別にまた町民の皆様に内容のお知らせをさせていただきながら、ご理解いただければと考えております。</p>
委員	<p>説明いただきまして、正直今日いただいて説明フェーズは終わっている感じなのでこの中に明記されていたら申し訳ないのですけれど、ただ単純に疑問点というか考えを、思いを伝えさせていただきたいのですけれど、やはり中井町の総合計画、基本構想と前期基本計画においては、まず、単純なのですけれど、どこの家庭においても、財政が、収入が、どうだからこれとこれを作ってこれを変えたりすると。じゃあこれを新しいお部屋にしようとかそういう風にできますよね。だからやはりこの中にはそういうものは無いと、だけど、人口減少も 6600 人になるとか、そういうものはもう出ているんですね。町民の皆さんにしてみれば、中井町って今後どうなるのよってということが一番不安だと思うんです。だからやはりそれと同時に財源がどういう形になっていくと。インター周辺の開発になったらこれがこういう風に組まれるとか、そういうものを総合的に出していただいて、こういうことを一つずつ町や学校はこうだとか、色々なものを総合的に出していただければ、皆さんは不安は解消できると思うんですね。やはり施行側は財源どうなっていると分かっていて、こういうものを出されていると思うのですが、町民の立場に立って、今後どうなるのよ、人口減少、高齢化になって不安ということがあると思うのですよね。そういうものも出ない中で、これだけをちょっと文章で羅列されていても不安が解消されていない。目の前に生涯学習センターが建っていると。でも我々にしてみればそれはずっと計画的に来たので、ここでやっとかという感じで、遅かった、タイミングが悪いって言いたいことがある。何でもっと早く。でもそれは今のそういう現状であって、それが町民の皆さんが不安が煽られている。だから、こういう総合計画、基本構想にしても、こういうものになっているから大丈夫ですよっていうものを出さないから。皆さん今すごく不協和音。私のところにも今すごく町民の皆さんの不安の声が届いています。私は少なからず町の方に入らせていただいたので、ちゃんと施行側はそういう風に計画してできるからやるんだっていうものはありますけれど、それが町民の皆さんにお示しされていない、だから不満が解消されていない。これを見ることによって、これから中井町はこうなるんだ、夢と希望があって大丈夫だよなっている形のもので出ればいいんですけど、文章だけで申し訳ないのですけれど、一生懸命作っていただいたけれど、そういうものだけが出されているからそういう不安解消ができていないっていうこともあるんじゃないかなと思います。ちょっと失礼な言い方、ここに書いてあったら失礼なんですけど、そういうものをやっぱり前面に出す必要があるんじゃないかなと思います。その点についてご教示いただければと思います。</p>
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。今回、こちらの計画の方と併せて町の中期の財政推計というものを作ることにしております。それが、今のこの計画の中にとりこむ形ではなく別物として年度末辺りに一応今後 5 年間の町の財政の見通し、例えば税収の見通しですとか、大きな事業の費用感や、そんなものを出しながらどのように町が財政運用していくかという資料をご提出させていただく予定でございます。当町のスタンスとして、例年総合計画とは別にそういうものをお出しさ</p>

	<p>せていただいている、また、今の、つい先日まで、今の5年間の予算見込みの調整などをしていたというところまでございまして、またこれから12月になりまして、来年度の予算の細かい査定なども行っていく予定です。そういったものを経た中で、ある程度精緻な数字感で財政運営を出して、こういう費用感で色々な財源を当て込みながら町の運営をしていく。その中で生涯学習施設の中も、5年間の中でなんとか賄えていく財政運営ができるという判断を今ある程度しているところでございますので、そういう考えのもとに、今の事業、生涯学習施設の建設事業の方は進めるという考えでございます。こういう時期がずれてしまってこの計画に入れ込めないというところがあるんですね、委員のそういう費用感のご不安などもあった中で、そういうものも、別建てではあるのですけれども、やらせているということで、ご回答ご理解いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>当然、そういうことを考えて計画していただいているってことはあるんですけど、でも今私これを今日、中井町総合計画に対して自分が答申を出すという場合にやはり町の将来的なものがどういう形になっている、だからこれに対してこれはやっていけるなっていうものが、予測的なものが無いものですので、どうすればいいのかなっていう思いがちょっとあったんです。今日これを決断、出さなきゃいけないことになっているってことで、ちょっとその点についてどう判断すればいいのかなと思います。</p>
委員	<p>はい。総合計画の71ページの中にですね、適切な行政資源・財産の運営管理ということで、町の行政運営の最適化ということで記載をさせていただいております。その中で中期的な行政運営にもとづいた適切な管理をしていくというところで、しっかり書き込ませていただいておりますので、個々の数字についてはここに載せることはできません。担当課長が申しましたように、令和8年度からの5年間の中期財政計画、大体これだけの収入がこれだけあって、これだけの歳出は需要があって、といった収支のバランスを取りながら概ねこの5年間は今のご指摘があった生涯学習施設も含めながらも5年間ではしっかり財政が保てるというような判断のもとで、いま町としては進めておりますので、ちょっと時期的にこのタイミングが若干まだ予算も最終的には詰まっていないので、今担当課長が申しましたように年末ごろにはしっかりまとまりますので、それは皆様の方にご公表していくような形で考えておりますから。基本的にはそれらも含めて財政運営はしっかりしていくという総合計画での位置づけ。そして実際に個別の案件については、その都度皆様に必要な情報を提供しているような中で、そういったご不安に対してもしっかり対応していくということで、町は考えていますので、その辺でご理解いただければ大変ありがたいかなという風に思います。以上でございます。</p>
委員	<p>財政推計というのは、5年、さらにそのもっと長い期間というものも同時に出しているんですか。40億かけた施設の5年、5年はそれは大丈夫でしょうよみたいな感じはするんですけど、ずっと使うからそういうものを作るわけで、ずっと大丈夫じゃないと困るわけで、ざっくりとでも、ぴったり数字が同じじゃないとおかしいとは思わないですけど、ざっくりこの感じでやっていけるっていうものが出てくるからこそ作るのだと思うんですけど、やっとここから5年先が出来ますよっていう段階で来年着工って言われているから、ちょっと色々すっきり分からないなっていう。この総合計画とはずれちゃうと思うんですけど。</p>
事務局	<p>はい、実はこの施設過去に2回ほど計画を止めたり延期したりという形でやっております。その</p>

時も、やはり財政状況を見ながらやって追った中で、なかなか例えば税収とかが見込めない、また国の制度変更等があるんですね、税収のその財源の配分が変わってしまって、その時点ではですね、建設は難しいということで、延期などをしてきたという経緯がございます。現在、例えばここ近年度税収の状況ですとか、国の、どうしても国の景気なんかでもだいぶ引っ張られてしまうのですよ。国は10年のスパンの動向なんかを出したりします。ただそれはあくまでもシミュレーション的なもので、費用感の積み上げではなくて、景気の指数が上向いたか普通か下回ったかで国の百何十兆円の予算がどのくらい、何%振れるかというぐらいのものしか出していないものです。その中で町の方で来る税収に影響があったり、交付税に影響があったり、国からの配分に影響があったりといったことがあるのですけれども、ある程度その辺を見ながら、今後の国の景気の波を見ながら、費用感的に当町で出せるものは、やっぱり事業計画ってある程度具体化して熟度のあるものでないと費用計上できないっていうものがございます。扶助費って言いまして社会保障なんかはちょっとある程度の年齢、年齢構成の医療費に関してやることができまして、他のちょっと大きな建設事業とか修繕など大きなものにつきましてはなかなか立てづらいということもあるので、一応5年にかかる費用は見させていただいております。税収につきましては、人口の動態ですとか、今の景気の状態ですね。いま高齢化が進んでいるのですけれども、働く人が増えておりますので、人口が減っていても住民税は減っていないという状況なんかもございます。そういうものも見ながら、一応入りについては10年ぐらいではちょっと推測では一応あるのですけれども、やるのですけれども、出については5年間をやります。建設を行う来年からの3年間を含んだ5年間の中で、他事業と含めまして、今現在持っている貯金の部分がございます。町で過去に何度かちょっと施設建設を止めてきたっていうのもあって、でもいつかは建てるんだということで、それ用の貯金というのをある程度積み立ててきました。近年、そういった大きな建設事業というのをやってきませんでしたので、通常こういう大きな建物を建てる時は借金をします。なんで借金をするかという、やはり今の費用だけで今の税収ですとか、今の貯金なりで全てやってしまいますと、後で使う人たちが何も負担をせずに、使えてしまうということになりますので、一応借金をして、後で使う方にも少しは負担をしていただくという考え方で借金をします。その現在ですとか借金の割合、借金がほとんどない、貯金がある程度あるというようなところも含めて、今この時点でこの事業はできるだろうという判断を現在させていただいているところでございます。今後、維持費の関係についても、縮減して、効率的な運営を図っていくということで、現在の施設の維持費等の細かい比較とか、経済が変わってしまいますので、直接どっちが高い低いというか比較はできないと思うのですけれども、色んなものも変わっております。ただ、その辺も踏まえた中で、この時点で建設は進めていくという判断をさせていただいているということで、ご納得いただければと思います。

会長

ちょっと議論がずれてきていると思ひまして、個別計画ではなくて、あくまでここでは、公共施設の話になっちゃっていますので、ここで議論したいのは、このパブリックコメントの結果、これを公表したいと、よろしいでしょうかということになりますので、こちらについてご意見をいただければと思います。公共施設の設置、財政等については別の審議会もございますのでこちらで議論していただいて、まずはこの案でよろしいかに関してご議論いただきたいですが、いかがでしょうか。

委員

細かい点で恐縮ですけれども、今回の4番のご意見のところ、該当ページ23ページというところですが、最後の自然災害対策って具体的に何ですか？と質問されていることに対して、

	<p>参考にさせていただきますという回答がイコールになるのかどうか、回答になるのかというところなのですが。例えば、35 ページとかは、この防災強化とかが記載されているので、そこをご案内する文だとか、なにか質問に対するお答えだとよろしいのかなと思ったのですが。</p>
事務局	<p>そうですね。今回のご質問につきましては、23 ページの(3)次世代につなぐという中に、上から二行目ですね、自然災害による被害を最小限にとどめるための対策などを通じてというところをとった、自然災害対策とは何ですかといったもののご質問だと思います。仰る通り、自然対策はなんですかということにお答えしていないということになりますので、こちらにつきましては、追記を、こういった想定をして、35 ページをご覧くださいと、地震や豪雨災害が多発しており、これら自然災害に対して明記をしておりますので、この 35 ページを取りまして、近年の自信や豪雨災害等を自然災害ということで考えているといったものをちょっと加えさせていただければと思います。</p>
委員	<p>ご指摘ありがとうございます。書きぶりとしては、この計画の 35 ページの中で位置づけていると、そういう趣旨のもとで、個別にどこまで書き込むかは判断させていただいて、ちゃんとそういった位置づけはさせていただいているという回答という形ですね、対応させていただければと思っております。</p>
会長	<p>他にどうでしょうか。では、こちらにつきましては No.4 についてだけ追記させていただいて、公開でよろしいでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>すみません。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>地域懇談会をやっていただいて、私も 1 回参加できたのですが、他はちょっと出られなかったのですが、その時意見 1 回行っただけでももっと沢山出ているなというところがあって、それはもっと細かくはどこかで出したりする予定はないですか。</p>
事務局	<p>ちょっとこの場では、計画に関係するもののみを抜粋して入れさせていただきました。実際に、先ほど出た施設系のご質問等が大変多かったので、実際の総合計画の作成とは関係ないご質問は、今回この場合には省かせてご紹介させていただいてございます。</p>
委員	<p>町民の感覚的にはイコールなんです。規模が大きいので、総合計画のあの施設の建設がちょっとイメージ的にイコールになっている部分があるかなというのをちょっとそのまたその話に戻っちゃうんで、またこれ終わりでいいんですが。ちょっと感覚的にはここから先の 10 年っていうのはあの施設ありきで進んでいくっていう、町民の中でその感覚があるよっていうのは私思うところです。</p>
事務局	<p>施設の関係につきましては、これからまた具体的なご説明を町の方でしていく予定でございます。その時に、また別の席ではあるのですが、総合計画の議論の時に出的意見はきちんと担当課のほうに伝えながら、全体としての、町民の皆さんの意見ということで集約させていただ</p>

	ければという風に考えます。以上です。
会長	よろしいですか。ではこちらにつきましてはこの状態で、No.4 は追記いただいて公開になりますのでよろしくお願いいたします。つづきまして、(2)第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画(案)、こちらについて事務局から説明をお願いいたします。

(2)第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画（案）について

質疑なし

(3)答申（案）について

委員	いま答申を読みながら、やはり全体の方向性を位置付けるという定義の部分に立ちますと、いまらどうこうではないのですが、行政側にお願いしたいところとしては、前回は作成してからの回し方が大切だろうといったことはあったと思います。行政側も十分にそういった形で、それを感じ取っているのかなという解釈をしています。そういった中で、やはり今他の方の意見から見ると、皆さんがどれだけ理解と納得がし得る部分があるのかなという、その何とも言えない部分があると思いますので、行政側にお願いしたいこととしては、大変だと思いますけれど、町民の方が、ここに書いてある内容について実行して、町民の方が納得するようなものができればいいかなと思います。2点目としてですね、この答申なのですが、これは法的拘束力を持つものと拘束力を持たないものがあると思うのですよ。こちらの場合にはこういうことを出すということはある程度法的拘束力があるという解釈でよろしいのでしょうか。
事務局	本総合計画が、町の条例で設置しておりまして、諮問機関という位置づけになっております。町の方から、その条例に基づきまして、この計画を審議会に諮問して、それを中でお諮りいただいてご回答いただくという、町の条例なのですけれども。それでいちづけをしている手続きということでご理解いただければと思います。
委員	諮問の内容はあくまでも基本的にはこの内容で皆様からご意見いただいて、諮問の中にも書いてありますように、留意する点として、意見として、この審議会としてここは町としてしっかりやりなさいよということだと思いますので、この意見に対しての法的拘束力はないとは思いますが。しかしながら、審議会の皆様からこういった意見が町長に対して出ておりますので、これはしっかり受け止めてしっかり勤めていくというのが、町としてはやっぱり対応していくことかなという風には思っております。以上でございます。
委員	ありがとうございます。
会長	町民に対してはパンフレットを作るのですよね。全戸配布をしたりとか。そこについて簡単にご説明いただければなと思うのですけれども。
事務局	また今後の予定でも触れさせていただきますが、本計画につきましては、12月議会で承認いただきましたら、不足している町長の挨拶を入れて最終的に完成させていただきます。そうしましたら、年明けになりますけれども、まず本計画を印刷させていただきます。併せて、概要版ということで、A4、8ページ構成になっているもので、概ね今まとめているものがございまして、

	<p>そちらにつきましては、一応コンセプトとしましては中学生でも分かりやすいようにということで、一度皆様にもお見せしているものにはなりますけれども、それは一応全戸配布させていただくために併せて印刷をさせていただきますして、配布させていただく予定というところでございます。</p>
会長	<p>説明はしっかりやっていくということです。納得するかは別問題として、説明はしっかりやっていく、そういう状況になっております。他にどうでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>年度ごとに実施する町民アンケートをもっとやっぱり数が必要だよねっていうのに合わせて、たぶん地域懇談会のときにもお伝えさせてもらったと思うのですが、やっぱり地域懇談会っていうのはもっとやって意見を直接聞き取るということも実施してほしい、それを検討してほしいということをお願いしたと思うのですが、それを盛り込んでもらえたらなと。アンケート1本だけではなくて直接意見を聞きに行く場っていうのを踏まえた上で、今後運営していくっていう風にやっていただけたらいいなという風に思います。</p>
事務局	<p>はい、総合計画の地域懇談会で指標を測るというのはちょっとなかなか難しいとは思いますが、指標についてはあくまでもアンケート形式でやらせていただきながら、町の色々な取り組みに対して地域懇談会、当課以外の課でもいろいろな形で地域懇談会というものをやっております。例えば生涯学習施設の建設についてもですね、今後ちょっとどういう形でやるかまではっきりしていないのですが、地域懇談会という形になるのか、説明になるかという違いはあるのですが、そのような形でですね、住民の方々の場に出向いて行って、色々個別のご意見を聞くという場合は、今もカフェミーティングですとか、色々なチャンネルがございます。そのようなものを、直接ご意見を伺うというのはしておりますので、それに対して引き続き行っていくという考えでございます。総合計画になりますと、こういうばわっとした広い場になりますので、一応主眼といたしましては、幸福度ですとか、町の個別施策への満足度というよりも政策の全体への満足度という形になりますので、それをちょっと計測するという部分では、地域懇談会というよりは、アンケートで主観的指標ですとか、満足度を取らせていただきながら、別の地域懇談会という形で、各取り組みについては地域懇談会という形で進めさせていただければと思います。以上です。</p>
委員	<p>地域懇談会を何回もやって、アンケート持って行ったらいいじゃないですか。普通にそこで配っていただいて帰りに何分かでやって出してくださいって言えば、やっぱりやってくれると思うし、そういうのも併せて意見を聞きながらアンケートもついでに取ったらいいと思うので、やっぱり直接会ってお話聞くのもすごく大事だと思うので、ネットでアンケート巻きましたっていうので終わらせないでいただけたらいいなっていうのが、ちょっと願いです。</p>
会長	<p>では、そういう方向で検討してもらえればなと思います。どうでしょうか。ではこちらはよろしいですか。</p> <p>(委員から異論なく、同意)</p> <p>こちらで町長に渡したいと思いますのでよろしく願いいたします。以上で、協議事項は終了します。</p>

4. その他

質疑なし